

令和2年度 事業報告書

令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

1. 事業の成果

コロナ禍での日常業務と取材、講演依頼等の対応、国会議員はじめ徳島県等への普及啓発を行い、会員、寄付金等の財政基盤と事務局体制が整っていない中でこの組織を残し推進することができました。2030年を目指した資源回収法(仮称)の創設の必要性、県内はじめ全国各地で焼却施設の更新時期が来ていることからごみ焼却炉の更新や広域での新設をするのではなく、リサイクル効率が上がり、温室効果ガスの削減に繋がる「トンネルコンポスの導入」について、先進事例調査を行い徳島県等に提案をさせていただきました。その結果県担当課で先進地視察を行っています。調査の結果、日本は世界で一番一般廃棄物の焼却が多く、個体のごみを回収不可能な、気体、液体の見えないごみにして、資源を浪費、未来の子供たちに環境のつけを残していることが明確になりました。特に徳島県のリサイクル率は四国4県で最低、全国平均を下回っていることなど、ZWA情報誌VOL1にまとめました。高校、大学、企業、団体等の依頼による講演などこれらの活動を通して、ゴミ問題の解決策を含めて環境意識の向上を図りました。今後、事務局体制を整え財政基盤を強化し、持続可能な地域社会・日本・世界を目標に、ごみ焼却・温室効果ガスゼロを目指す活動を推進します。

2. 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
ゼロ・ウェイスト推進のための普及・啓発事業	普及啓発活動 パンフレット、3,000部作成、新聞各社、視察者対応、ごみ焼却ゼロを目指し国会議員、徳島県、県内自治体に働きかけ、ZWA情報誌1000部作成、会員等に配布、普及啓発を行いました。中学、高校、大学、団体からの依頼によるオンライン講演、総合学習での講義を行いゼロ・ウェイストの必要性及び環境意識の向上を図りました。	6月～3月	徳島県内事務所等	常勤理事外非常勤理事8名	全国各地アメリカ推定2,000人～10,000人	2,097
	ごみ焼却、分別資源化等情報収集事業 国の方針に基づく、広域ごみ処理施設に関する情報収集と単独ごみ処理施設整備に関する情報収集を行い理事研修会で情報共有しました。	6月～3月	事務所等	常勤理事1名非常勤理事8名	理事9名	
	独立型ソーラー駐輪場システム管理業務 合同会社パンゲアと連携した電動アシスト自転車のレンタルサービス及び太陽光充電システム付き駐輪場の管理について、専門家によるの調査結果、導入後10年が経過し、バッテリーの充電機能がなく、更新するバッテリーは接続が難しい上高価なことから、引き続き協議することになりました。	6～3月	事務所等	常勤理事1名	0	
ゼロ・ウェイストの調査・研究事業	視察研修事業 全国先進地事例研修①ごみを燃やさない先進事例調査・・・ごみの固形燃料を石炭の代替燃料として使用している大王製紙三島工場を見学、三豊市のトンネルコンポストを視察研修しました。	6月～3月	愛媛県、香川県、事務所等	常勤理事1名非常勤理事2名	4人	202
	温室効果ガスゼロ(気候変動)に関する情報収集(CO2の①排出減、②吸収源、③固定化④ごみ焼却)等の情報収集を行いました。				9人	
ゼロ・ウェイストスクール運営に係る事業	ゼロ・ウェイスト人材育成事業 ゼロ・ウェイスト人材育成事業、環境の英会話教室毎月2回開催	6月～3月	上勝町コミュニティセンター	非常勤理事1名	2人	0
ゼロ・ウェイスト商品の開発・普及に係る事業	①脱プラスチックの商品開発と提案、②化石燃料の低減の生活提案③木材の有効利用によるCO2の固定化商品開発の提案、④自然エネルギーの調査研究開発提案…今年度は事務局体制が整わず実施できませんでした。					

(2) その他の事業……令和2年度から中止しました。